

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成30年4月19日 (2018.4.19)

【公表番号】特表2017-516652(P2017-516652A)

【公表日】平成29年6月22日 (2017.6.22)

【年通号数】公開・登録公報2017-023

【出願番号】特願2016-575618(P2016-575618)

【国際特許分類】

B 0 1 D 71/26 (2006.01)

B 3 2 B 5/22 (2006.01)

B 3 2 B 27/32 (2006.01)

B 0 1 D 69/10 (2006.01)

B 0 1 D 69/12 (2006.01)

B 0 1 D 69/08 (2006.01)

C 0 8 J 9/00 (2006.01)

B 2 9 C 47/06 (2006.01)

B 2 9 K 23/00 (2006.01)

B 2 9 K 105/04 (2006.01)

B 2 9 L 7/00 (2006.01)

B 2 9 L 9/00 (2006.01)

【 F I 】

B 0 1 D 71/26

B 3 2 B 5/22

B 3 2 B 27/32 E

B 0 1 D 69/10

B 0 1 D 69/12

B 0 1 D 69/08

C 0 8 J 9/00 C E S A

B 2 9 C 47/06

B 2 9 K 23:00

B 2 9 K 105:04

B 2 9 L 7:00

B 2 9 L 9:00

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月7日 (2018.3.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

非対称微多孔膜であって、

複数の孔を画定する熱可塑性ポリマー基体であって、ポリエチレン ( P E )、ポリプロピレン ( P P )、ポリメチルペンテン ( P M P )、及びそれらの組合せのうちの 1 つ又は複数を含む、熱可塑性ポリマー基体と、

前記熱可塑性ポリマー基体上に配置されたポリメチルペンテン ( P M P ) ポリマースキンと、を含み、

前記熱可塑性ポリマー基体が P M P を含む場合、前記 P M P ポリマースキンは、前記熱可塑性ポリマー基体の P M P の結晶化度とは異なる結晶化度を有する、非対称微多孔膜。

【請求項 2】

前記 P M P ポリマースキンの前記結晶化度は、約 4 0 %、又は約 4 0 % 未満である、請求項 1 に記載の非対称微多孔膜。

【請求項 3】

前記熱可塑性ポリマー基体は、ポリメチルペンテン ( P M P ) を含む、請求項 1 に記載の非対称微多孔膜。

【請求項 4】

前記 P M P ポリマースキンの前記結晶化度は、約 4 0 % 未満であり、前記熱可塑性ポリマー基体の P M P の前記結晶化度は、約 4 0 % 超である、請求項 3 に記載の非対称微多孔膜。